

『顧客大臣』とWebアプリケーションの連携で モバイル端末でのデータ管理を実現



株式会社ミントウェーブ

(東京都新宿区)

ミントウェーブは産業用電気機器メーカーの大手・東光高岳のグループ会社として、電力系の制御システムやEV(電気自動車)用の急速充電器の設置保守点検を行っています。

保守や契約の現場において、モバイル端末を使ってデータ入力するという将来構想のもと、管理体制を刷新。

『顧客大臣』とWebアプリケーションの連携による顧客管理システムを構築しました。

高い信頼性が求められる 電力インフラの安定稼働に貢献

ミントウェーブの母体は、東光高岳から独立したシステム開発部門。さらに電力システムのメンテナンス部門、シンクライアント端末開発部門が付随したのが現在の業態です。

今回お話を伺ったインフラソリューション事業部では、電力会社の監視制御システムや電気設備等の保守を行い、私たちの生活に欠かせない電力の安定供給に貢献しています。

「特に電力系のシステムは、24時間365日安定稼働させなければなりません。『止めない』『長引かせない』『すぐ復旧させる』が社会インフラを支える企業としての使命です。」(市村氏)



インフラソリューション事業部
市村 馨 氏

EV用充電器の保守事業国内No.1 クリーンエネルギー推進で市場拡大

2013年よりEV用の急速充電器の保守事業に着手。短期間で事業成長を遂げ、現在では国内シェアNo.1を誇ります。

「東光高岳が急速充電器の製造に着手したのがスタートで、クリーンエネルギー推進などの社会的な流れもあり、相対的に出荷台数が増加しました。それに伴って充電器の設置保守部門が東光高岳から独立し、弊社で行うようになりました。現在は、EV向け充電サービスを提供する会社と提携しながら、事業を確立させています。

また、日本は世界的にも電力網が充実している国で、送電線から電力を引っ張ってくるだけで充電の環境がそろいます。こうした環境要因も、EV社会が普及する後押しになっていると思います。現状、設置数が都市圏に偏っている点が課題ですが、ガソリンスタンドの減少が加速する地方部で、充電設備を導入いただく例も出てきています。」(市村氏)

少ない拠点ながら、日本全国で設置・保守を一貫して行う体制を築けている点がミントウェーブの強みだと話す市村氏。今後もさらなる発展が期待されます。



インフラソリューション事業部
長尾 聖太 氏



インフラソリューション事業部
菊地 春花 氏

パッケージの安定性を活かし 『顧客大臣』でデータ管理の土台を用意

2017年に、保守や契約データの管理体制を刷新しました。「フルスクラッチも検討していましたが、仕様決定やテスト稼働にかかるマンパワーを軽減するため、パッケージである『顧客大臣』でデータ管理体制を敷きました。大きなメリットは、データベースの土台や基本的な機能が最初から搭載されている点ですね。オリジナル帳票の作成やデータのcsv出力もできる汎用性の高さも、今後の運用に役立ちそうです。」(市村氏)

現場社員の入力用には、オリジナルWebアプリを作成。マジックソフトウェア・ジャパン株式会社の超高速開発ツール『Magic xpa』で作成したもので、短期間で要望に合ったアプリケーションを開発できました。モバイル運用を実現させるための基礎固めです。

Webアプリで現場社員がデータ入力 『顧客大臣』とリアルタイム連携

『顧客大臣』が主に担うのは、お客様（機器設置店舗など）のデータや帳票管理。2つの独立したデータベースを『DBリンクユニット』で相互参照しています。

「片方のデータベースでは契約情報、もう片方では日々のメンテナンス履歴などの機器データを管理しています。契約管理画面で機器データ側から保守履歴を呼び出したりと、必要に応じてデータを参照しあい、ひとつのデータのように扱っています。」(市村氏)

現場の営業社員や保守担当者による入力・閲覧にはWebアプリを使用します。

「要望に合わせてアプリ画面をカスタマイズできるので、直感的に入力できて使いやすいです。基本データや帳票管理は『顧客大臣』、現場社員による入力はWebアプリと使い分けています。」(市村氏)

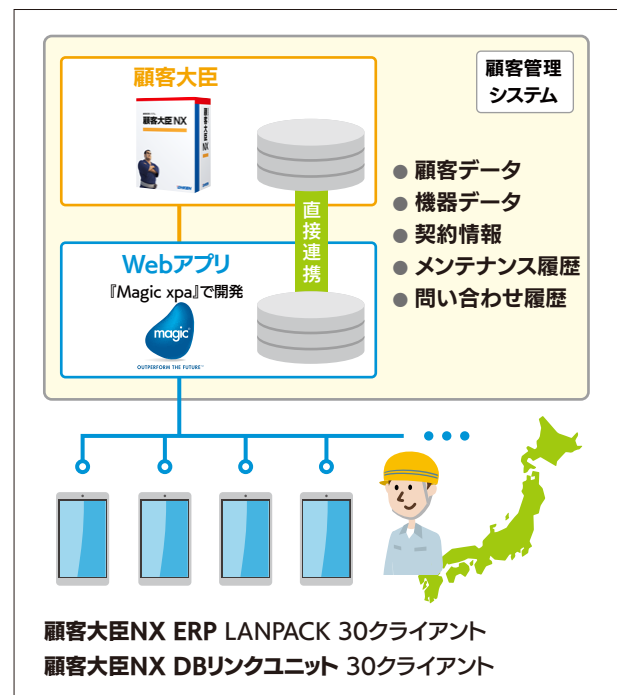
Webアプリで入力したデータは『顧客大臣』とリアルタイム連携し、シームレスな顧客データ管理を実現しています。

委託先も含めた本格的なモバイル運用で 社内外の業務効率化を促していく

第1フェーズである顧客データ管理の土台を整備したミントウェーブ。次のフェーズで目指すのはもちろん、本格的なモバイル運用です。

「今回の顧客管理システム化で、ようやく地ならしができたというか、0から1に前進できたという感触です。Webアプリをモバイル端末で使えるようにして、社員が現場で保守や契約データを入力できる環境が整えられれば、より業務の省力化につながります。具体的な整備はこれからになりますが、徐々に進めていく予定です。

ゆくゆくは、保守を委託しているパートナー様に対しても、モバイル運用の普及を視野に入れていきます。現地の情報を吸い上げてお客様へスムーズにフィードバックする流れを鈍らせないためにも、パートナー様へ必要な部品や情報提供をスピーディーに行えるサポート体制を築いていくことが、ひとつ我々の使命だと考えています。」(市村氏)



株式会社ミントウェーブ



所在地 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ

代表者 毛受 重久

創業 2002年10月

資本金 5,000万円

事業内容 電力システム・EV用急速充電器保守、システム開発、シンククライアント開発ほか

URL www.mintwave.co.jp/

